

事業内容の要約(2016年)

産業機械・農業機械・仮設ユニット式ハウス・パッカー車等特装車の販売・メンテナンスと立体駐車場事業

事業内容の本文

4つのグループ(G)からなる。

1Gは本社において、産業機器営業Gと部品用品営業Gからなり、主たる取扱メーカーは富士重工業(株)、富士重工ハウス(株)、(株)マキタ、ヤマハモーターパワープロダクツ(株)、(株)オーレック等で、販売先は主に建機レンタル業、建機・産機・農機販売修理業、工具販売業等「BtoB」で営業展開をおこなっている。部品用品営業Gは各メーカーの部品取扱だけでなく、富士重工業(株)ロビンエンジン部品特約店として数百アイテムの部品を常時ストック。正確で早い納品に日々取り組んでいる。

2Gは若林区にある総合整備センターにおき、仙台市周辺一円の農家・農業組合・造園業等への農業機械や緑化関連機器の販売・修理・メンテナンスを行っている。主たる取扱メーカーはヤンマーアグリジャパン(株)、(株)やまびこ他、多数のメーカーを取り扱う。

3Gも総合整備センターにおき、主にパッカー車の販売・修理・メンテナンス・レンタルを行い、新明和工業(株)特約店としてシャシディーラ各社と共に地域顧客密着型営業を展開している。そのほか、環境関連機器のメンテナンスも手がけている。

4Gは立体駐車場事業。平成27年12月17日にリニューアルオープン。青葉区中央4丁目(本社跡地)名称は「SS中央パーキング」120台収容・全ハイルーフ対応の最新式タワーパーキング。

会社の特色

初代相澤林治氏が大正12年創業、当初は農具等の行商に始まる。昭和27年6月法人化(相澤株式会社)

昭和38年に興立産業株式会社に社名変更。昭和51年現在地に本社移転。この頃ロビンエンジンの販売を手がけ、産機部門を設立し建機市場に進出する。

平成2年、旧本社跡地に立体駐車場を建設。平成13年、若林区鶴代町に総合整備センターを落成。大型化・高性能化する農業機械の更なるサービスアップとパッカー車等、特装車のメンテナンスのため設備を一新した。平成17年に富士重工業(株)とパッカー車の特約店契約を締結。同じ年、陸運局より自家用自動車有償貸渡の許可を取得し、パッカー車の更なる普及のため、レンタル事業を開始する。

平成24年12月をもって富士重工業はパッカー車の生産を終了。同年、新明和工業(株)と特約店契約を締結。

NEWブランド「G-PX・G-RX」新型の拡販を展開。サービスにおいては、レンタル代車がユーザー様・シャシディーラ様から信頼を得ている。

東日本大震災において本社が被災し、翌平成24年8月新社屋が落成。この年設立60周年を迎え、この期に代表取締役を相澤美智雄氏から相澤秀樹氏へ交代。平成27年7月より64期に入る。今日まで、時代と市場の変化に柔軟に対応した経営姿勢がこのような事業体制となっている。